

とちの実

第84号

編集・発行

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会

事務局

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6

とちぎ福祉プラザ内2F

TEL 028-624-3789

FAX 028-624-8631

[E-mail] tochi-chiiku@ninus.ocn.ne.jp

[URL] http://www.tochiteiku.jp/



(一社) 栃木県手をつなぐ育成会
会長 小島 幸子

栃木県育成会のリーダーとして
頑張ります！

いつも栃木県の育成会を応援していただきありがとうございます。

来年は、栃木県育成会創立70周年です。先輩の皆さんから引き継いで来たことを後輩の皆さんに引き継いでいくのが、私たちの義務だと考えています。

全国の育成会は、今年で創立73周年です。47都道府県すべてに育成会があり、さらに8つの政令指定都市と事業所協議会の合計56の正会員で構成されています。当初から「運動の中心は支部におく」とし、都道府県ではなく市町村が中心であるとされて来ています。

政策提言と権利擁護を活動の柱とする手をつなぐ育成会は、国において唯一の知的障害当事者団体です。育成会が、国に働きかけて実現したことは、障害基礎年金制度の創設、障害児の義務教育化、J R 運賃の障害者割引など数多くあります。

国から、意見を求められる団体ですし、栃木県や各市町でも自立支援協議会などの委員になっている会長さんも多いです。

相談支援専門員制度が浸透してきて、日常の不安

や困ったことは相談支援専門員に話して一緒に考えていけるようになりました。

また、施設にお子さんが入ると、その保護者の活動だけでいいかなと思う方も多いです。

しかし、障害のある人とその家族は、日々なんの悩みもなく暮らしているでしょうか。

特別支援学校卒業後の進路が決まらない、行動障害があり施設から断られて在宅になっている、親なき後の相続などの課題、成年後見制度を利用するタイミングについて、きょうだいの悩み、トラブルで警察のお世話になってしまったなど私のもとにも多くの相談が寄せられています。

地域で顔が見えて、小さい頃からお子さんをお互いに知っている関係。困った時に助け合う。これが育成会活動の良さなのだと思います。

これからも育成会という仲間で、障害のある人の幸せを願って、心一つにし、楽しく活動していけたらと思います。それには会員さんお一人、お一人の力が必要です。

栃木県育成会の会員が年々減り、財政的に大きな見直しを図る必要に迫られています。

新年度には「育成会のあり方検討委員会」(仮称)を設置し、持続可能な育成会の経営を検討します。会長の私が先頭きってやるので、どうか皆さま！今後とも協力をよろしくお願いいたします！

目次

- | | | | |
|---------|------------------------|-----|----------------------|
| p 1 | 会長あいさつ | p 6 | 研修会報告 |
| p 2 | 出番です！お父さん事業、ぜんち共済広告 | | (権利擁護委員会研修会、大田原市研修会) |
| p 3 | 本部会ひまわりの会 | p 7 | 理解・啓発活動 |
| | (森のコンサート、アフリカンダンスとゲーム) | | (県消防学校・県警察学校での出前授業) |
| p 4~p 5 | 地区活動アラカルト | | 表彰関係、県育成会賛助会員、編集後記 |
| | (佐野市、那須塩原市、下野市、那須町) | p 8 | J I C生活サポート総合補償制度広告 |

出番ですよーお父さん事業

「おやじの会への想い」

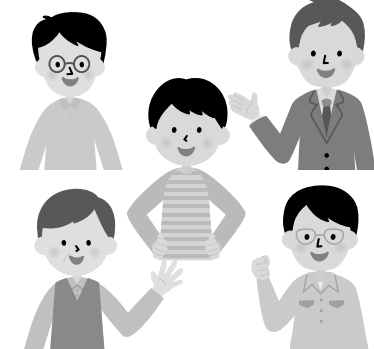
(一社) 栃木県手をつなぐ育成会

理事 尾花 正二

例年にも増して寒さが厳しい今冬、私は二月八日におやじの会に参加しました。参加は幾分少ない目でしたが、休日にも拘らずご出席いただきありがとうございました。

今から六年ほど前、我が子の養育や将来への不安、さらに育成会活動へのご意見などをお父さん方からも聞きしようと「おやじの会」が発足しました。途中コロナ禍で中断を余儀なくされましたが、今回再開でき新たな一歩を踏み出せたと内心安堵しました。

これまでの中で、一人親になり息子の施設での生活が気がかりで苦悩した心情を伺い、胸打たれるものがありました。また、障害ある兄への援助を悩みつつも、その対応を学ばれている方の話を伺い、何ができるか考えさせられました。いずれも普段の研修などでは得られない貴重な話で、育成会が掲げる様々な課題とも通じると受け止めました。



会員同士が顔見知りになり、点から線、面への結びつきを可能とする「おや

“出番ですよ”お父さん事業(県育成会主催事業)次第

時 令和7年2月8日(土) 15時～18時

会 場 ホテルニューイタヤ(受付 14時50分)

15:10 開会あいさつ 副会長 尾澤 嘉孝

15:15 意見交換(各参加者の発表) 進行 県育成会 事務局 石川

◎自己紹介やご質問など

16:00 懇親のつどい 進行 県育成会 事務局 石川

・開会あいさつ及び乾杯 理 事 柳田さん

・中締め 理 事 萩原さん

・お開き

18:00 解散

じの会」を地道に続けることは「任重くして道遠し」の諺に例えれば育成会活動の願い、活性化に通じるものと信じます。年一度の機会ですが、気軽にお出かけください。日頃気になることや悩みを共有しませんか。お子様の幸せを願って。

このようなお困り事に
心当たりがある方に...

病気やケガが絶えない...
成人病や生活習慣病に備えたい...
他人の物を壊してしまった...
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある...

障がいのある方とそのご家族へ



ぜんちの
あんしん保険

少額短期損害総合保険(特約付)2019年創設

・最高日額1万円
・個人賠償責任補償
・弁護士費用補償
・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの
こども傷害保険

少額短期損害総合保険(特約付)2019年創設

・入院・通院を日額保障
・個人賠償責任補償
・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150 平日10時～16時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

[2024年1月作成: 23TC-006826]



ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号

本人部会ひまわりの会

森のコンサートに参加して

宇都宮市知的障害者育成会 森屋 弘美

去る11月23日、宇都宮市福祉バスを利用して、那珂川町にある「よろこびの森」での森のコンサートに参加しました。

バスにゆられる事1時間、よろこびの森に着くと、日頃より大変お世話になっている、岡倉先生、黒須先生方と那須烏山ガールスカウトの皆さん達が準備をして待っていてくださり、歌や楽器演奏、絵本の読み聞かせ等を体験しました。又、この森の学校の校長先生である「とうかえで」の木では、ツリークライミングの体験もできました。



少し寒さを感じてきたころには、ガールスカウトの方々から、焼き芋と豚汁の差し入れがあり、心も身体もほっこり、大変ご馳走様でした。

楽しく過ごしたよろこびの森を後に次の目的



地である、ステーククロバーに向かいました。到着するとすぐに美味しいハンバーグを食べながら、今日の思い出や、それぞれの近況等を話す会話もはずみ楽しい昼食となりました。

クロバーを後に、福祉プラザに向かうバスの中は、皆疲れたのか静かになっていました。とても有意義な時間を過ごすことができました。

「アフリカンダンスとゲーム」に参加して

宇都宮市知的障害者育成会 佐々木佳子

節分前日の寒い2月1日、障がい者スポーツセンター（愛称…わかくさアリーナ）にて、「アフリカンダンスとゲーム」を体験しようという催しがありました。始めにドレミファワンダーランドのメンバーによる発表。ひまわりの約束とパプリカを披露しました。参加された方々も一緒に歌ったり揺れたり踊ったり、パプリカではアンコールの声もかかりました。次に、講師の石川典子先生をお迎えして、アフリカンダン

スを踊りました。エネルギッシュな音楽と共に、前に後ろに輪になったりして楽しく踊りました。寒くて凍えていた体が一気にヒートアップ、皆さんの目が輝き、「た・の・し・い！」と表現していました。最後にわくわくドキドキのビンゴゲーム。「あつた」とか「ない」と一喜一憂しながら楽しみました。外は寒くてもわかくさアリーナは熱い午前中でした。



コロナ緩和での事業

佐野市手をつなぐ育成会 武藤真紀枝

令和5年5月8日から感染症5類へ移行し世の中も以前の生活に戻りつつある日常に、今年度は令和元年まで行われていたレク教室での一泊旅行を6月に実施することができました。

渋沢栄一記念館、お昼に水沢うどん、谷川岳ロープウェイ、猿ヶ京温泉に宿泊し次の日はロックハート城、さくらんぼ狩り、道の駅川場田園プラザにて買物休憩し無事帰って来ました。物価上昇に参加費も上げざるを得ませんでしたが皆さん楽しかったようで実施でき良かったです。今回施設職員2名の方がボランティアで旅行に参加してください、懸念事項であったお風呂介助に協力して頂き感謝しております。

レク教室以外にもコロナ禍での屋内での行事はリスクがあるので、4年度からとちのみ学園の園庭をお借りし、会員以外にグループホームの方や職員の方々も参加して頂きスポーツ大会を実施することができました。毎年恒例のボランティア事



業での城山清掃奉仕活動、佐野市福祉フェスタ、1月には講師佐藤直久様による「成年後見制度」の研修講演会、お楽しみ会を実施しました。

昨年末に進むにつれコロナ、インフル等感染症が増えインフルは警報レベル超えになっておりました。これからの感染対策に配慮し実施できたらと思います。

今年度の行事から

那須塩原市心身障害児者父母の会

会長 本澤恵美子

役員の高齢化や、親の介護、自身の体調などの理由で年々役員としての活動が難しくなる人が多くなっているなか、お互いにカバーし合い今年度の行事を終えることが出来安堵しています。

今年度の主な行事としては、会員が楽しみにしているレクリエーション教室と障害者相談会・研修会がありました。

レク教室は、コロナ禍後は、日帰りで2回（平日と日曜）に変更し、六月は茨城県鉾田市でメロン狩りを初体験、10月は、仙台・塩釜&アンパンマンミュージアム。かまぼこ焼き体験やマゲロ井に舌鼓を打ちました。

専ら『おいしいものを食べよう』メインの旅に

地区活動



になっていきますが、『美味しいものとお喋りそしてみんなの笑顔』は何より活力が湧きます。この行事にしか^{!!(^^)!}を合わせることはない会員もいて、近況を知ったり、貴重な情報交換の場でもあります。

11月22日(金)には、同愛会理事長の菊地月香氏と、小島会長をお迎えし栃木県障害者相談会・研修会を開催しました。

テーマ「親なきあとの子どもの暮らし方」

「自分がみられるうちは面倒をみる」と頑張っ





レクリエーション教室

下野市心身障害者児者父母の会 粥見 美夏

11月、透き通るような秋晴れの青空のもと、バスに乗り日帰りでレクリエーション教室に参加させていただきました。

最初に鹿沼市木の工芸館では鹿沼組子のコースター作りを体験させていただきました。細長い木の部品を図面通りに組んでいくだけ…と簡単そうに見えても端の形状が微妙に異なり、目を凝らしながら真剣に取り組みました。

待望の昼食は会員おすすめの「峠の味どころ大越路」さんでした。美味しいお料理に舌鼓をうつ

たあとは、栃木県立博物館に向かいました。

美しい紅葉で有名な県中央公園も散策することができ秋の空気をたくさん吸い込みました。

最後はリング狩りもさせていただきました。手の届く高さに赤

アラカルト



く色づいたリングがたくさん成っており、おの好みの実をよく吟味して摘み取りました。

会員の年齢層は、親は70〜40代くらい、子どもは50〜10代くらいまで幅広く、抱えている悩みもそれぞれ異なりますが、こうして1日ゆっくりと一緒に過ごす機会にお互いを知ることができ貴重なひとときとなりました。

また団体での遠出は、障がいを持つ子どもには経験する機会が少ないため、社会性を育むために大切な場であると感じました。今後も会員の皆さんと一緒に子どもたちに様々な体験をさせてあげたいと思います。

那須地区ふれあいスポーツ大会

那須町障害児者親の会会長 渡辺 節子

那須地区ふれあいスポーツ大会は、知的に障がいを持つ方や心身に障がいを持つ方々がスポーツやレクリエーションを通して、友情や親睦を深めることを目的に開催されており、今年度で28回目

の開催となりました。

大田原市、那須塩原市、那須町の3市町合同で開催しており、各施設利用者や職員のみならずに参加していただいています。年に1回開催されるこの大会を機会に、顔を合わせる参加者もあり、真剣に競技に取り組む姿を嬉しく思います。

また、「紅白対抗スプーンリレー」など保護者や施設職員が参加する競技もあり、参加者から保護者や職員に、たくさんの「がんばれ」の声援が送られ、会場を盛り上げていただきました。

当日は、頑張った参加者へ参加賞が配られましたが、参加賞は3市町で順番に用意しており、今回は那須町の障がい者施設で作られた木製スマホスタンドとカフェチョコの詰合せでした。その他、「お菓子釣り競争」で使われたお菓子も町内施設の方が作ってくれた物でしたが、自分たちが真心こめて一生懸命作ったものが、皆さんに喜ばれることは、とても嬉しいことだと思います。

今後も皆様と協力しながら、楽しいふれあいスポーツ大会を続けていきたいと思っています。



研修会報告

権利擁護委員会研修会

「障害者差別解消法改正について」

県育成会事務局

去る1月17日(金)とちぎ福祉プラザにおいて「障害者差別解消法改正について」と題して筑波大学人間系の太村美保先生よりご講演をいただきました。当日は、コロナやインフルエンザの感染の影響も踏まえ対面とオンラインによるハイブリッド方式での開催でしたが、特に大きなトラブルもなく進めることができました。

講演では、障害者差別解消法に関する「障害の社会モデル」「社会的障壁」「合理的配慮」「環境の整備」などの基礎的な知識について具体的な事例を通して分かりやすくお話しいただきました。特に、教育分野での合理的配慮の提供については、文科省対応指針を下に具体的な対応を詳しく説明され興味深く聴くことができました。また、意見交換では、要望等を行政等につなぐ仕組みや負担

過重となる事例、学校における具体的事例など参加された方からの意見にも丁寧にお答えいただき、障害者差別解消法について理解を深める機会となりました。

知的障害児・者への包括的性教育

大田原市障がい児者等保護者会 和久千夏子

身近な地域での困難事例がきっかけで保護者の学びが必要と思い、この研修会を行うことを決めました。講師を探すところで苦戦をしましたが、関係機関からの情報をたぐり、最適な方に結びつくことができました。

研修会の内容についてですが、性教育のイメージは何となく身体の成長のこと、男女の関係性がクローズアップされがちです。でもお話を聞く中でセクシュアリティとは、人間であることの中核として理解される可能性があるものとのこと。私の思っていたものより、もっと深く複雑で、保護者として広く知るべき内容と反省しました。障害者におけるセクシュアリティに関する課題として「性教育は必要でも保護者や支援者らが、本人の『意思』なしに性行動に介入し、管理することは権利侵害にあたる」「生殖に関することをお教えられる中で交際が制限されてい

知的障害児・者への包括的性教育
～保護者・支援者が考えたいこと～
講師：京都教育大学総合教育臨床センター 門下祐子氏

日時：令和7年1月30日(木) 10:00～(受付9:40～)
会場：大田原市役所1F市民協働ホール
(大田原市本町1丁目4-1)
内容：知的障害児・者への包括的性教育
～保護者・支援者が考えたいこと～
講師と会場をZoomで繋ぎ講話(80分)質疑応答(10分)
講師：京都教育大学総合教育臨床センター 門下祐子氏

る傾向にある」とあり、事例として北海道の社会福祉法人での不妊処置問題が挙げられました。それから、障害のある人の「性」の学びの現状について十分でないこと、教職員が性教育について勉強する機会が必要だと感じているが学習の機会がないなどの話、特別支援学校で実践されている内容の紹介がありました。

講師から「この言葉は覚えて帰ってほしい」と言われたのが「からだの権利」誰もが、自分のからだに、誰が、どこに、どのようにふれることができるのかを決める権利をもっている」です。このことを知ったうえで、保護者・支援者が関わることはとても大切であると思います。

また、一人ひとりが振り返りたいこととして、
*性をはじめから「問題視」したり「禁止」の視点で捉えていないか
*自分はどうようなジェンダー観や規範をもって

いるか
*子どもたちを「性の権利」の「主体者」としてとらえているか

振り返ったうえで過度な「管理」や「保護」にならないように『対話』を大切にしたいですね、とのことでした。本当に大切なことがたくさん詰まった研修会になりました。

この研修会の参加者内訳は定員50名に対して保護者20名。他は福祉施設職員・相談支援員・社協職員・保健師などの支援者で、想定を超える申し込みがありました。まさに今、必要とされる研修内容であると痛感しました。今後も継続して学びの機会を作っていきますので、多くの方にご参加いただきたいと思います。

理解・啓発活動

「栃木県消防学校及び

栃木県警察学校での出前授業」

県育成会事務局

今年度も昨年に引き続き那須塩原市のカラフルBOXと一緒に消防学校（8/30金）と警察学校（12/6金）へ出前授業に行ってきました。

毎回そうですが、消防学校（64名）と警察学校（41名）の学生さんに知的障害に関する講話と疑似体験をしてもらい、皆さんとても熱心に聞いてくださり、多く意見や感想もいただきました。

知的障害者が地域で安心安全に生活していくためには、その安心安全を守って下さる消防士や警察の方に知的障害者のことを知っていただくことが重要と考えています。そして、この活動が年を重ね多くの方々に広がっていくことを心から願っています。今後も、関係する多くの皆様のご協力をよろしく願います。



表彰関係（県育成会推薦分・敬称略）

栃木県民福祉のつどい並びに全国手をつなぐ育成会連合会において、これまでの活動実績が顕著な方々に表彰状等が贈られました。

受賞された皆様、誠にありがとうございます。今後も益々のご活躍を祈念申し上げますとともに、育成会活動へのご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

☆栃木県民福祉のつどい関係

知事表彰

小幡 玲子（佐野市）

栃木県心身障害児者親の会連合会会長表彰

熊倉 里美（佐野市）

逆井 典子（市貝町）※宇都宮市在住

古口 利香（下野市）

石川 順子（宇都宮市）

栃木県心身障害児者親の会連合会会長感謝状

株式会社 池田屋（宇都宮市）

☆全国手をつなぐ育成会連合会関係

感謝状対象

岡 倉 ゆかり（本人部会講師）

黒 須 千 鶴（本人部会講師）

県育成会賛助会員

賛助会員の皆様には日頃より県育成会の諸活動に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今後とも会員、ご家族が安全に安心して社会生活を過ごせるよう活動の充実に努めてまいりますので、変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

《個人》※敬称略

大村 美保 日向野義幸

大門 亘 佐藤 直久

大谷 弥生 海發美智子

井上 成史 井上 玉枝

服部 祐未 渡辺 幸子

沼子 広美 植木 雅人

小牧 敦子 島田 泰利

匿名 一名

《団体・企業・事業者等》

有限会社エス・エスメタル

島手そうめん株式会社

大越観光バス株式会社

社会福祉法人恵友会

匿名 一社

編集後記

この時期には、たくさん種類の花が咲き、世界が明るくカラフルに見えます。

別れなどもあり、少し寂しさもありますが、自分の心の中も彩を多くしていきたいです。

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

発達障がい児者の方も
ご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償

※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

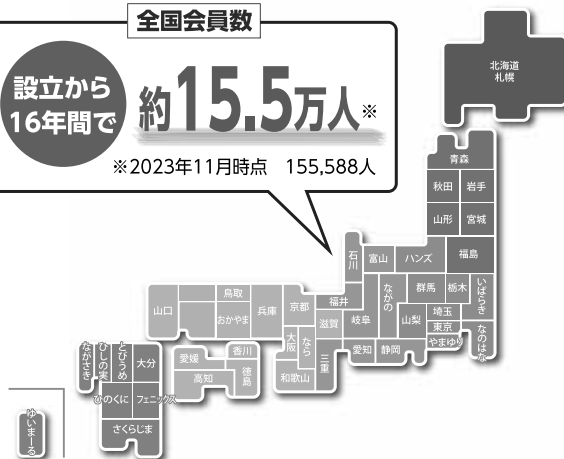
全国で約15.5万人※のみなさまに
ご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点

全国会員数

設立から
16年間で 約15.5万人※

※2023年11月時点 155,588人



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビル2号館2F

TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

東京第二プロチャネル営業部

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階

TEL: 03-5401-3660

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

栃木県知的障害児者生活サポート協会

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6

とちぎ福祉プラザ2階

TEL: 028-612-1901 FAX: 028-612-1902

受付時間: 午前9時半～午後4時(土・日・祝日・年末年始を除く)